

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(国語)

各教科の内容別・観点別の分析表

	内容別の分析	観点別の分析	課題
1年	<p>物語など興味をもって聞くことができるが、自分の想像で話を広げてしまうことがある。</p> <p>促音や半濁音、助詞の「は、を、へ」表記がまだ確実にできていない。</p> <p>大事なことを落とさないように聞くことについては、個人差が大きい。</p> <p>場に合った声の大きさを発表すること、知らせたいことを自分で決めて話すことが苦手な児童が多い。</p>	<p>国語への関心・意欲は高い児童が多く、物語文など演じたり、発表したりすることができる。</p> <p>読むことについては、経験の差・定着の差がある。</p> <p>書く能力に関しては個人差が大きい。</p> <p>口形に注意して明確な発音で話そうとしている。</p>	<p>叙述を確認しながら、正しく読めるようにする。</p> <p>助詞の「は、を、へ」を文の中で正しく使えるようにする。</p> <p>言葉集めや文作りを通して、文字の表記や語と語の続き方に注意して書く力をつける。</p> <p>話形と声のものさしを掲示し、発表の場を多く設定する。</p> <p>大事なことを落とさないように、話し手に注目して聞く力をつける。</p>
2年	<p>読書は好んでいますが、年齢相応の内容や様々なジャンルの読み物を選択できていない児童がいる。</p> <p>聞く時の大切な姿勢が、全体的に定着できていない。また、聞き手を意識して話したり、全体に発表したりする力には個人差がある。</p> <p>漢字の学習は興味をもって学習しており、ていねいに書くことを心がけている児童が多い。</p> <p>作文の表記(句読点、「」、助詞、段落))が、曖昧な児童がいる。</p>	<p>国語への関心・意欲はある。</p> <p>興味をもって聞くことはできるが、大事なことを落とさずに最後まで聞こうとする態度が身につけていない。</p> <p>姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すことに課題がある。</p> <p>漢字学習には意欲的に取り組んでいるが、漢字の定着や言語事項についての個人差が大きい。</p> <p>書くことを決めるのに悩む児童、意欲はあるが書き方が分からない児童、</p>	<p>読書の習慣をつけながら、読んだことを学習の中で生かす場面を設定し、目的的に本を選択したり読み進めたりする力を養う。</p> <p>教室に話し方、聞き方のポイントを常掲して、意識を高める。</p> <p>発表の場を活用して、友達の良いモデルを自分に生かすように言葉掛けをし、話す・聞く能力を育てる。</p> <p>視写を取り入れ、表記の仕方を学習したり、丁寧に文字を学習したりする習慣を身に付けさせる。</p> <p>今週のニュースを継続的に書く活動として位置づけ、文作りを通して語彙を広げたり、表現したりする力を伸ばしていく。</p>

		書くことが好きな児童と、個人差が大きい。	
3年	<p>新出漢字への意欲は高いが、定着していない児童が見られる。</p> <p>物語文の登場人物の心情や場面の様子など読み取ることができるが、要点をまとめたり、想像を広げて読解したりするなどの取り組みは難しい。</p> <p>書写や視写には熱心に取り組み、手紙文などで自分の感じたことや思ったことを書くことができる。</p>	<p>話す・聞くことでは、自分の考えを発表する力はある児童とない児童の差が大きい。</p> <p>段落の役割の理解がまだ不十分で、文章の中でまとまりを意識して書くことができない。</p> <p>書く能力については、様子や気持ちを詳しく表現する力が不十分である。</p>	<p>読書や辞書の活用などを日常的に組み入れ、言語面での継続的な指導をする。</p> <p>話す・聞くの型を示しながら、相手を意識して取り組めるようにする。また、児童同士で相互評価させることによって内容を分かりやすく話すことの大切さを理解させるとともに、よい考えは積極的に賞賛する。</p> <p>書き方の型や例文を示しながら、スモールステップで学習を進める。また、書く機会を意識的に増やす。</p>
4年	<p>読書が好み、物語文や説明文などは意欲的に読みとることができる児童が多い。学習全般に個人差が出てきている。</p> <p>すすんで発表できる児童がいる。しかし、自分の考えや気持ちをきちんと言葉で表現することや、話の要点をとらえて最後まで最後まで聞くことが、やや苦手な児童が見られる。</p>	<p>音読や発表の時の声が小さい児童もいる。</p> <p>読み取りは、言葉の意味をとらえて理解しながら読み進めることができる児童と、そうではない児童の差がある。</p> <p>作文など、書くことに対して苦手意識がある児童もいる。</p> <p>漢字学習では繰り返しの学習が十分ではない児童もいる。</p>	<p>音読練習、漢字練習は継続してやっていく。</p> <p>書く力を高めるために、スモールステップで指導したり、場面の振り返りをしたりしながら意欲的に取り組めるような教材開発をする。読書指導を継続して実施する。</p> <p>発表の際に、相手意識や目的を明確にし、言葉づかいに気を付けて話す。</p> <p>発表の場を工夫し、自分の考えや気持ちをきちんと言葉で表現する力を育てていく。</p>
5年	<p>全体的に読み解く力に関する内容の理解が低い。</p> <p>問題から解答を取り出す力はあっても、正しく読み取ることができていない</p>	<p>言語事項では個人差がある。</p> <p>説明的文章の読み取りが十分でない児童が多い。</p> <p>要点を整理してまとまりのある文章を</p>	<p>話形をヒントとして提示する。また、調べたことを読み上げるのではなく、内容をよく理解してから発表するようにする。</p> <p>文章の組み立てを具体的に指導する。また、題材メ</p>

	<p>児童が多く見られる。 全体的に個人差が大きい。</p>	<p>書くのが苦手な児童が多い。 過不足なく言葉を補って相手に伝わるように話すのが苦手な児童が多い。</p>	<p>モや段落構成メモを活用し、中心となる内容をはっきりさせて書く指導を行う。 話し合いやスピーチ等、人前で話す機会を意図的に増やしていく。</p>
6年	<p>話し合いの場面では、相手の伝えたいことを考えながら聞いたり、筋道立てて話したりすることを苦手としている児童が複数おり、話し合いがなかなか深まらない。 文学的文章の読み取りでは、叙述から人物の心情の変化を読み取る問題でつまずく児童が多かった。 集めた資料、取材した内容に沿ってパンフレットを作る学習には、意欲的に取り組める児童が多かった。</p>	<p>言語事項に関する知識・理解については、個人差が大きく、定着度の低い児童が多い 話すこと、聞くことに関しては、相手の意図をつかみながら聞いたり、自分の考えが伝わるように工夫して話したりすることを苦手としている児童が多い。 読むことについては、説明的文章における内容や要点の読み取りは、定着が見られ、読解力が高まりつつある。 考えたことを順序立てるなど、構成を考えて書くことができる児童は少ない。</p>	<p>話すこと・聞くことに関しては、相手の意図をつかみながら聞くことが苦手な児童が多いため、聞いた内容について書いてまとめる学習を行う。また、他人の話聞いて自分がどんなことを考えたかを話すことが苦手な児童が多いため、話を聞いた後、自分の感想を書いたり話したりする機会を増やす。 読むことに関しては、文章を読み取った内容を受けて、自分がどんなことを考えたかなどを話したり書いたりすることに課題がある。観点を示し、自分の考えを文章に表せるように指導していく。 書くことに関しては、自分の考えを、相手に分かりやすく、順序や表現を工夫して書くことが課題である。板書やノートを参照し、順序や論の組み立てを自分が書いたメモを、順序を考えながら書き進められるよう指導する。</p>

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(算数)

各教科の内容別・観点別の分析表

	内容別の分析	観点別の分析	課題
1年	10までの加法、減法の意味の理解や計算力に個人差が大きく、苦手意識をもつ子もいる。 順序数の数を用いて正しく表すことについては、定着していない児童がいる。	知識理解が定着しづらい児童の割合が多い。 数の合成、分解など、知識・理解の定着についても個人差がある。	具体物を活用したり、繰り返し取り組ませたりすることによって基礎基本を定着させる。 数の構成については個別指導や反復練習を重ねて、確実に理解させる。 順序数に関しては、数唱をするなど意図的に日常生活の中で用いて、正しく理解させていく。
2年	意欲をもって学習に取り組むが、学習内容の定着に個人差が大きい。 足し算と引き算の筆算のやり方は理解したものの、使っていないと計算の方法を忘れてしまう児童がいる。 数の位取りの意味や、数の構成、大きさの理解できていない児童がいる。 長さやかさの単位についての理解が難しい児童がいる。 ものさしの使い方が注意深く丁寧にできない児童がいる。	苦手意識をもっているために、個別に対応していく児童が多い。知識理解が定着しづらい児童の割合が多い。 根拠を明らかにし筋道立てて思考する力が不足している。 日常的な経験不足からか、数の構成の理解が不十分である。 長さや水のかの学習を経験と関連づけて量感をとらえたり、測ったりすることが困難な児童がいる。 単位の計算や単位の変換が、難しい児童がいる。	具体物を活用したり、繰り返し取り組ませたりすることによって、楽しく学習に取り組む姿勢を養う。基礎基本を定着させる。 筆算の方法を忘れないように、時折振り返りの時間をとり、定着をはかる。 文章題を説く際、図に表したり、半具体物を示したりしながら文意を捉えさせる。 算数の授業以外でも、時間や長さ、かさの見積り・予想をして、長さやかさ読み取る活動を生活の中に生かしていく。家庭との連携を図り、生活の中で継続して経験をさせていく。
3年	意欲的に学習に取り組むが、学習内容の定着に個人差が大きく、処理の時間についても個人差がある。 計算力はあるが、処理の時間と文章	計算などの技能的な学習は進んで取り組む児童が多いが、数学的な思考能力については、いろいろな方法で解く力が不足している。	日常的な場面を取り上げたり、視覚的にとらえたりするなど、具体的な指導を図る。 大切な言葉を押さえたり、児童同士で話し合ったりしながら、問題文を読み取る力・数学的に考えて解決し

	<p>題を解く力に個人差が大きい。 時計など目に見えない量感への理解が難しく、学習した内容が実生活と結びついていない。</p>	<p>課題の処理時間に個人差が大きく、個別支援が必要である。 計算の意味やきまりなどについて、理解しながら取り組む力に個人差がある。</p>	<p>ていく力を身につけさせる。 いろいろな考え方についてお互いに意見を述べあう機会を多く設定し、題意に沿った解決方法を見出せるようにする。</p>
4年	<p>数と計算の領域では、計算の操作はおおむねできている。しかし、計算能力の個人差も大きくなってきている。 コンパスや三角定規などの操作が苦手で、正確な図形を作図することが難しい児童もいる。 学んだことを様々な場面に応じて生かしていく活用力が優れている児童と、そうでない児童との個人差が大きい。</p>	<p>意欲的に取り組む児童が多い。 既習事項や生活経験をもとに筋道を立てて考えたり、自分の考えを表現したりすることに優れている児童とそこに課題がある児童がいる。 いろいろな解決方法を考えられる児童がいる一方、学習したことがなかなか定着しない児童もいて、個人差が大きい。</p>	<p>児童が興味をもち、考えようとする授業づくり、「自分の考えを深め、伝える」場面を多く取り入れた授業展開をしていく必要がある。 「量と測定」や「図形」領域の学習では、体験的、作業的活動を重視すると共に、身の回りの事象と結び付けて考える力をつけていく必要がある。 個人差が出てきているので、習熟や補充の時間を確保する必要がある。</p>
5年	<p>問題を読み取る力が低く、思考・判断・表現する力が弱い。 計算の操作はおおむねできているが、計算能力の個人差も大きくなってきている。 図形を作図することを好む児童が多く見られるが、正確に作図することが難しい児童もいる。</p>	<p>意欲的に取り組む児童がいる一方、関心・意欲に課題がある児童もいる。 既習事項や生活経験をもとに筋道を立てて考えたり、自分の考えを表現したりすることに課題がある。 いろいろな解決方法を考えられる児童がいる一方、学習したことがなかなか定着しない児童もいて、個人差が大きい。</p>	<p>身の回りの事象と結び付けて考える力をつけていく必要がある。 授業導入で既習の確認や計算をし、学習の定着を図る。 文章でまとめられた知識や算数のきまりを読解力が不足しているために間違えることがある。</p>

<p>6年</p>	<p>数と計算では、計算の法則に関する知識や、計算の技能に個人差が大きく見られ、特に小数、分数の計算に関しては苦手としている児童が多い。</p> <p>三角形や四角形の面積の求め方については、公式を忘れてしまっている児童が多い。角柱や円柱の体積の求め方についてはよく定着している。</p> <p>文章題では、題意をとらえられなかったり、筋道立てて考え、立式したりすることができず、正解に導けない児童がみられる。</p>	<p>全体的に意欲をもって学習に取り組む子が少ない。</p> <p>知識・理解に関しては、よく定着している内容としていない内容の差が大きい。</p> <p>計算の技能には大きな個人差が見られる。</p> <p>文章問題を読んで、立式したり、考えを説明したりするなど、表現力が弱い。</p>	<p>既習事項を生かして考えることを継続して指導する必要がある。身の回りの事象を扱うなどして、考えることの楽しさや、数を扱って解決する面白さが体感できる授業構成を工夫する。</p> <p>授業中、発表ボードを活用するなどして、自分の考えたことを表現させ、説明する力を身に付けさせたい。</p> <p>文章題では、題意に合わない数値を解答しても、間違いに気付かない児童が多い。解答を見直す習慣も身に付させていく。</p>
-----------	---	--	---